

お恥ずかしい結末の IM70.3 Thailand 11 月末にタイのプーケットに行きました。此処の IM70.3 は 5 年振りです。しばらく開催が無く今回フィリピンのイベント会社 Sunrise が主催（最近手広く大会を展開してます）3 年振りでエリック & ドット Blakie 夫妻とも再開が楽しみです。お宿は大会々場のあるリゾート内の Holiday Club、部屋はジュニアスイーツ（ちょっと広すぎた感じ）浴槽やキッチン・朝食も付いて 1 泊 ¥10000 とリーズナブル。スイム会場からはラグーンを挟んで 1 km 余と程よい距離です。バイクをセットした後、バスでゆったりする。翌朝 WiFi を繋ぐと Eric からのメール、彼等は 10 日前からビーチ沿いの豪華ホテルに滞在し先週の Laguna Phuket 大会も Alan と親子で入賞。

受け付けに行くと AWA のシルバーランクは VIP 待遇？横には先ごろ亡くなったプミポン国王の祀られた祭壇が在り合掌。大会ボードをバックに千恵美とツーショット。午後ビーチで少し泳ぎ TA を視察、バイクでランコース試走しホテルに戻ると風と共に突然のスコールだ、どしゃぶりの雨でベランダ迄濡れ慌てて洗濯物を部屋に入れる。2 時間たっても止まず、シャトルバスでパーティ会場へ行くが雨の中入口迄走る途中で滑って尻餅をつき、腰の付け根が痛い、大丈夫かな？テントの中は雨のせいで席はガラガラ、エリック夫婦の席も確保して待つ、そこへ N 夫妻（聞けばご主人は同じエイジ奥さんも 2 週間前から 5 km 程離れたスポーツリゾートでトレーニングキャンプとか？木ムクコーチの指導も受けてたそうです）も同席してエリック夫婦共懐かしい話で楽しく過ごす。

土曜日はバイクチェックインの後説明会（役員の紹介ばかりでコース等の説明は無くあとは Web ページを読んでくださいって感じで終わる）夕食後早めに眠るが又々、6 回も目が覚めトイレです、（これって病気？）眠たいまま 4 時前に起きてカップ素麺と赤飯の朝食、少し休んでから歩いてスイム会場へ、空は未だ暗くトランジションに入ると雨除けのポリ袋を外しバイクチェックやレースギヤをセット、今回エントリーがトラブルで遅れ同じエイジ 7 名とは一人離れた番号になり（AWA シルバーのリスト洩れで恩典も無し）出入り口から遠くなってしまいました。身から出た錆では仕方ありません、選手は 1200 名以上、欧米他 60 ヶ国から参加と人気の大会です。そのうち MC の Whit さんが今大会の最高齢は 69 歳ヒトヒコ・サカジリ Japan とアナウンス、思わず千恵美と苦笑いでした。6 時 20 分プロがスタートしエイジは 6 時半から、泳ぎの早い順にウエーブ St です。水温 24℃ 以上なので Tri ショーツで泳ぐ波も無く 41 分台上がりましたが、バイクコースに出るまで狭い砂浜を自転車押して蟻の行列です。バイクコース序盤はリゾート周辺のカーブの多い小道でスピードは上がりません、10 km 走ってようやく国道に出るとバイク押して横断陸橋を渡りやっ

直線のバイクコース、路面の凹凸は気になるがペースは上がりいい感じで走っていたら折り返し手前の自転車道に入るとガタガタして後輪パンク、何年振りかのチューブラーのタイヤ交換、慣れないポンベを使うとバルブの出が短くエアが抜けて最悪、焦りましたがポンプで入れ直し、オフィシャル？スタッフに手伝ってもらい空気圧もそこそこ入れると彼に礼を言って **Re** スタート。10 分程ロスか？後半はトラブルなく走れ 3 時間半ほどで戻る。TA は又、行列です急いでランコースに入りアベ **5:45/k m** の 2 時間ペースで走るが暑くてエイドごとの水掛けはタイムロスが多い？（水が無くなりドラム缶によじ登らないとすくえませんが、最後はドリンクを頭に掛けました）コースは少しのアップダウン **10k** 余り往復 6 箇所？折り返しタイム・チェックのマットと手前で紐の輪をもらう（通過確認らしいがゴールでチェック無？） 2 時間 6 分程でゴールすると **HITOHICO SAKAJIRI from Japan !Oldest finisher !** と MC アナウンス。リカバリーエリアでは先にフィニッシュした **Eric** が水槽に浸かっていたので一緒に入る、火照った頭や身体を冷やし極楽々々、中々出られません **Alan** と 3 人で写真撮ってようやく上がり記録発表を待つがわからないのでホテルに戻りバスで疲れをいやす、ネットのリザルトも未だの様だ、3 時半からの表彰式合わせて会場に戻るが順位の表示はなくエリック達と合流して日陰で発表を待っていると **N** さんご夫婦が「無事完走出来ました」と言って帰られました。アワードが始まり **Sunrise** の CEO がフィニッシャー T シャツは後日送るとお詫び。MC-**Whit** さんのステージ始まる、最初は年寄りから、エイジ **65up** の 3 位は **N** さんの名前が呼ばれ？続いて **K** さん 1 位はやはりスイスの **H・Hermann** 氏世界トップクラスの実力者です。やがて **Alan** の 3 位表彰も終わり、なにか複雑な気分。**Eric** 達とタイ料理店でディナー、楽しく時を過ごしホテルに戻る、早速ネットをチェックするとリザルトページでは私はフィニッシュタイム **6:25:38**（3 位より 25 分ほど早い？）ながら **DNF** になっております（どういうこと？）。最後のスプリット **2.3 km** が記録なし？翌朝、大会事務局を訪ねるが殆皆チェックアウトして **Oh my God!** 仕方なくホテルに戻りレザルトを調べると同じ様にフィニッシュタイムが有りながら最終スプリットの記録なしで **DNF** になった選手が年代問わず 24 人も、記録を見ると中間 **Sprit** の **2.3 km** が殆ど 1 時間以上掛ってるおかしい？チェックシステムの誤作動？と思い込み早速エントリーで世話になった **Anthony** やレースディレクターに質問メール？を送る。半月過ぎてようやく折り返しポイントを通過してないと返事が来るがこちらは記録の無い最後の折り返しとばかり思いこんでいるから納得いかず **Google** のストーリービューを添付し、チェック紐を受け取ってからマット通過迄折り返しの一部始終をメールで説明するが返事は来ない、そのうち遅れていた **Finisher T**

シャツが届き。改めてランのコース図をよく見るとトランジションの近くに折り返しの○印！ 行帰りに2度通過しましたが全く記憶に有りません、千恵美の話では折り返しポイントは在ったが左折の誘導はしてなかったそうです、返事の you did not pass the u-turn point to start the second lap of the course.とは此処のことでした。折り返しまで200m 足らずですがミスコースで短縮した様です、間抜けというか誠にお恥ずかしい話です。早速お詫びのメールをレースディレクターと Anthony に送り一応落着。結果AWA ランキングポイントも加算0点ではシルバーメダルどころか銅にもなりません。粗忽の Jerry とお笑ください。おまけに膝の痛みが再発、暮れと正月は風邪で2度も38.5度の発熱でダウン。帰省した壱岐でのハーフマラソンも Give up 波乱の幕開けです。今年はフランスの温泉保養の町 Vichy IRONMAN 出場を(2012年の IM Hawaii 以後ハーフの IM70.3 で無理せず安全走行? 中でした) 目論んでます。2年前に見つかった脳腫瘍も良性では有りますが経過観察中、幸い年数回のMRI や聴力検査でも変化や悪化症状も現れずこのまま手術しなくて済むかも? と色気、いえ勇気出して70歳での再挑戦。膝の痛みが回復しない現状では完走も? ちと不安ですが36回目になる Ironman-Jerry を目指し頑張ります。乞うご期待!!!

